

【物流効率化の促進】

1) 水戸方面への大型車の高速アクセス時間短縮

三郷料金所スマート IC の大型車対応化により、商品等の搬出入等で常磐自動車道を利用して水戸方面に向かう場合、三郷 IC 経由の渋滞箇所を回避できるため、所要時間が短縮される。また、常磐自動車道水戸方面へのアクセスが向上し、周辺道路の混雑緩和、輸送等の定時性や安定性の向上が期待され、企業の利益創出にも寄与される。物流拠点 A から流山 IC までの所要時間は、三郷 IC 利用の約 18 分(約 10.5km)から約 7 分(約 3.8km)となり、約 11 分短縮される。



図 1 大型車対応化による流山 IC までのアクセス時間短縮

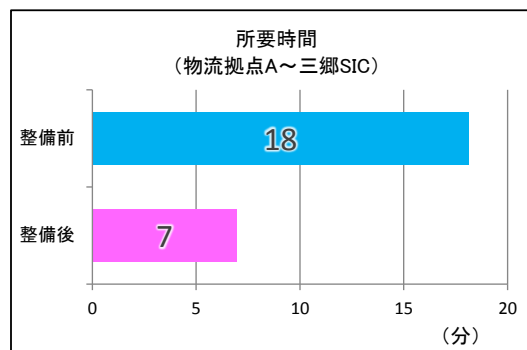


図 2 市内から大型車で水戸方面へ向かう際の
SIC 利用と三郷 IC 利用との所要時間比較

※所要時間：H22 センサス混雑時旅行速度より算出。

また、流山 IC までの所要時間は、北側ルート（県道 326 号線経由）で約 24 分（約 13.9km）、南側ルート（県道 5 号線経由）で約 27 分（約 8.1km）だったが、スマート IC 利用で約 7 分（約 3.8km）となり約 20 分短縮される。混雑箇所や事故危険箇所を回避したルートが確保され、輸送時における定時性及び安定性の向上が期待され、企業の利益創出にも寄与される。

以上より、水戸方面への大型車の高速アクセス時間が短縮され、物流効率化の促進に寄与される。



図 3 大型車対応化による流山 IC までのアクセス時間短縮

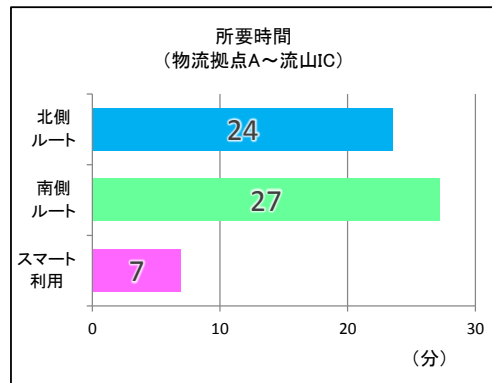


図 4 市内から大型車で水戸方面へ向かう際の
三郷料金所スマート IC 利用と流山 IC 利用との所要時間比較

【土地利用の高度化】

2) 企業誘致や産業活性化の促進

三郷料金所スマート IC の大型車対応化により、三郷市内の高速道路の利用圏域が拡大され、周辺に位置する「産業立地ゾーン」の高速道路アクセスの向上が図られる。

「産業立地ゾーン」の交通利便性の向上により、企業誘致や産業活性化の促進が期待される。



図 5 IC 周辺の「産業立地ゾーン」